【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-508470(P2005-508470A)
【公表日】平成17年3月31日(2005.3.31)
【年通号数】公開・登録公報2005-013
【出願番号】特願2003-542754(P2003-542754)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ０１Ｄ　11/04
　Ｆ０１Ｄ　11/02
　Ｆ０１Ｄ　25/00
　Ｆ０２Ｃ　 7/28
【ＦＩ】
　Ｆ０１Ｄ　11/04
　Ｆ０１Ｄ　11/02
　Ｆ０１Ｄ　25/00　　Ｍ
　Ｆ０２Ｃ　 7/28　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年5月9日(2005.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ガスタービンステータであって、
　主冷却空気の流れが加圧室（１６）へ入るための通路を提供する第１の噴射手段（１）と、
　第１のキャビティ（９）の前記加圧室（１６）を部分的に画定する内部ラビリンスパッキン押さえ（１３）から来る吐き出し空気を、低圧の第２のキャビティ（１０）の方へ排出する手段と、
　前記第２のキャビティ（９）に含まれる空気をメインダクトの方へ排出する第２の噴射手段とを含み、
　前記ステータは、更に、前記加圧室（１６）の中で前記内部ラビリンスパッキン押さえ（１３ａおよび１３ｂ）の近くに空気の超過圧力を生成する第３の噴射手段を含むことを特徴とする、ガスタービンステータ。
【請求項２】
　前記第１の噴射手段（１）が、前記ガスタービンのロータ（３８）に接触する空気のフローを生成する少なくとも１つのブレード（１２）を含むことを特徴とする、請求項１に記載のガスタービンステータ。
【請求項３】
　前記第１の噴射手段（１）が、前記ガスタービンのロータ（３８）に接触する大きな成分を有する空気のフローを生成する少なくとも１つの傾斜孔を含むことを特徴とする、請求項１に記載のガスタービンステータ。
【請求項４】
　前記排出手段が、一方では前記第１のキャビティ（９）に出現し、他方では前記第２のキャビティ（１０）に出現する、少なくとも１つの穿孔（１１）を含むことを特徴とする

、請求項１から３のいずれか一項に記載のガスタービンステータ。
【請求項５】
各々の穿孔（１１）が、前記ブレード（１２）の１つのソリッド部分に作られることを特徴とする、請求項２を引用する請求項４に記載のガスタービンステータ。
【請求項６】
前記内部ラビリンスパッキン押さえ（１３ａおよび１３ｂ）が少なくとも１つの摩擦部分（１３ａ）を含み、各々の摩擦部分（１３ａ）が支持部（１４）によって保持され、該支持部の中に第１の噴射手段が置かれ、この支持部（１４）が、キャビティ（２０）および材料ブロック（１５）によってハニカム構造であり、これらのキャビティ（２０）が吐き出し空気排出手段へ通じるように意図され、前記材料ブロック（１５）が３つの噴射手段を含むように意図されることを特徴とする、請求項１から５のいずれか一項に記載のガスタービンステータ。
【請求項７】
前記第３の噴射手段が、前記ガスタービンのロータ（３８）に接触する空気のフローを生成する少なくとも１つのブレード（１２）を含むことを特徴とする、請求項６に記載のガスタービンステータ。
【請求項８】
前記第３の噴射手段が、前記材料ブロック（１５）を通るように作られた少なくとも１つの穿孔（３）を含むことを特徴とする、請求項６に記載のガスタービンステータ。
【請求項９】
前記穿孔（３）が、前記ガスタービンのロータ（３８）に接触する大きな成分を有する空気のフローを生成するように傾斜して作られることを特徴とする、請求項８に記載のガスタービンステータ。
【請求項１０】
前記第２の噴射手段が、前記ガスタービンのロータ（３８）に接触する大きな成分を有する空気のフローを生成する少なくとも１つの傾斜穿孔（１７）を含むことを特徴とする、請求項１から９のいずれか一項に記載のガスタービンステータ。
【請求項１１】
前記第２の噴射手段が、前記ガスタービンのロータ（３８）に接触する空気のフローを生成する少なくとも１つのブレードを含むことを特徴とする、請求項１から９のいずれか一項に記載のガスタービンステータ。
【請求項１２】
前記加圧室（１６）が、特に、少なくとも２つのキャビティ（１８および１９）を作り出す鈑型外部ラビリンスパッキン押さえ（４ａおよび４ｂ）によって画定され、これらのキャビティ（１８および１９）の各々が、ソリッド要素によって前記第２のキャビティ（１０）から部分的に分離され、これらキャビティ（１８および１９）の少なくとも１つに出現する前記第２の噴射手段が前記ソリッド要素の中に作られることを特徴とする、請求項１から１１のいずれか一項に記載のガスタービンステータ。